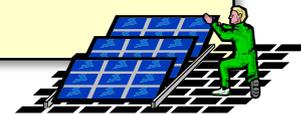


市民共同発電所を全国に先駆けて設置(平成9年～)

- 「市民共同発電所」は**市民による出資や寄付を財源として地域が主体となって設置**するもので、エネルギーの地産地消、エネルギー自治への機運醸成、低炭素社会づくり、環境学習に資する。
- 旧石部町(現:湖南市)において、**全国に先駆けて平成9年6月に設置。**



●**全国初 事業型市民共同発電所の誕生**

平成9年6月、「いしべに市民共同発電所をつくる会」が、「(株)なんてん共働サービス」の社屋に、**小規模・地域分散・多機能・双方向**の市民共同発電所「**てんとうむし1号**」を設置



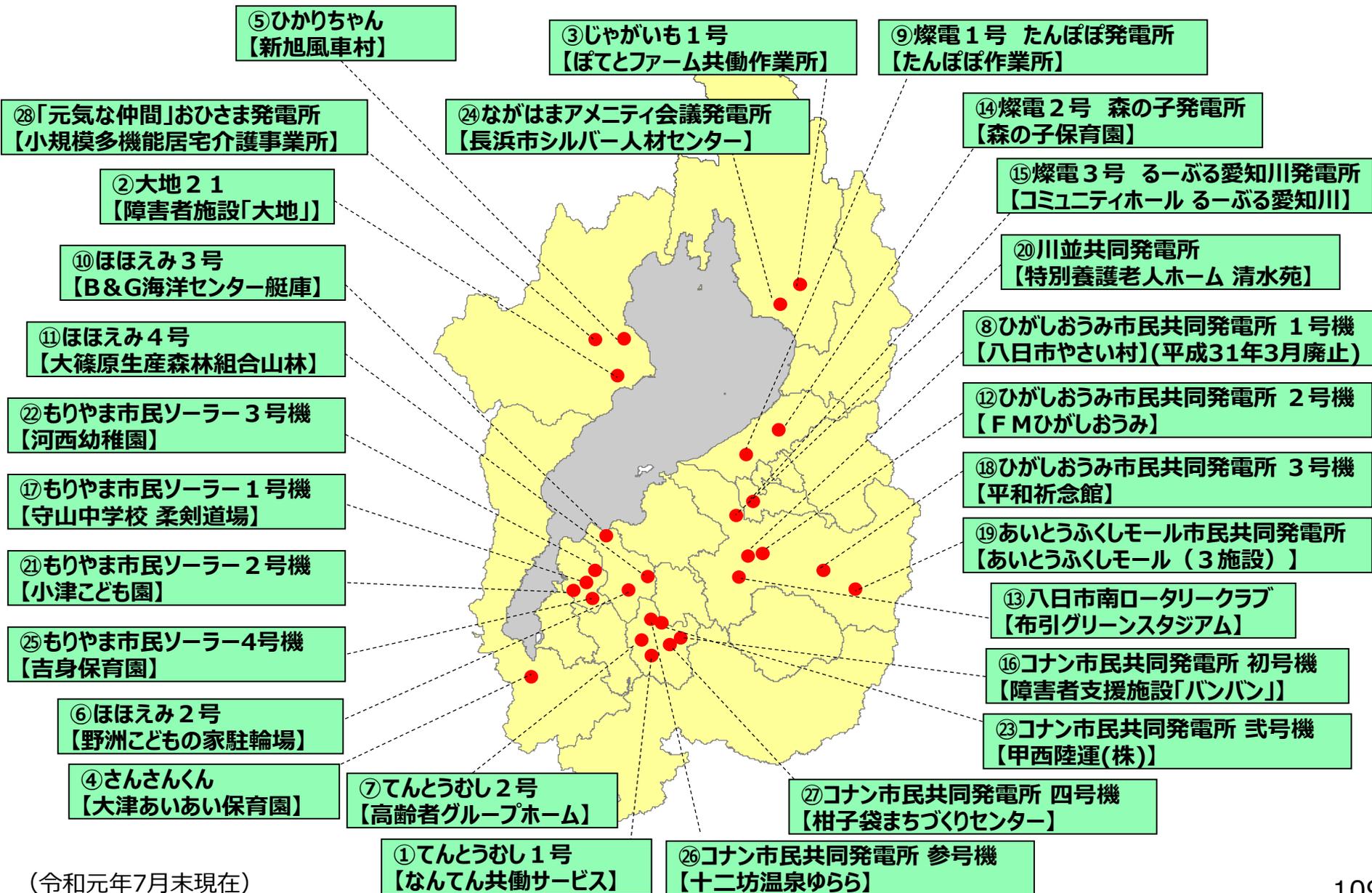
- 1口20万円 18口(25人)出資
- 4.35kW 事業費約400万円
- 分配年額4,000円
- 市民が行う温暖化防止
- 固定価格での全量買い取りの運動



県内の主な「市民共同発電所」の設置事例

	市町名	設置年月	事業主体	設置場所	発電容量
1	湖南市	H9年6月	いしべに市民共同発電所をつくる会	なんてん共働サービス屋根	4.35kW
2	高島市	H9年	大地に市民共同発電所をつくる会	障害者施設屋根	5.45kW
3	長浜市	H10年6月	湖北・市民共同発電所“さといも”プロジェクト	共働作業所屋根	2.7kW
4	大津市	H13年3月 H22年10月着工	市民共同発電所を作る会・おおつ	あいあい保育園	当初 5.22kW 現在 9.52kW
5	高島市	H13年	風車村に市民共同発電所を設置する会	風車村	2.9kW
6	野洲市	H14年4月	NPO法人エコカルヤスドットコム	駐輪場屋根	2.1kW
7	湖南市	H14年12月	いしべに市民共同発電所をつくる会	高齢者グループホーム屋根	5.4kW
8	東近江市	H15年12月 H31年3月廃止	ひがしおうみコミュニティビジネス推進協議会(管理)	八日市やさい村建物屋根	5.99kW
9	彦根市	H16年3月	燦電会	作業所屋根	5kW
10	野洲市	H17年4月	NPO法人エコカルヤスドットコム	琵琶湖岸艇庫屋根	3.3kW
11	野洲市	H22年1月	NPO法人エコカルヤスドットコム	山林	5.5kW
12	東近江市	H22年1月	ひがしおうみコミュニティビジネス推進協議会(管理)	FMひがしおうみ社屋屋根	4.39kW
13	東近江市	H22年10月	八日市南ロータリークラブ	布引グリーンスタジアム	5.5kW
14	彦根市	H23年3月	燦電会	保育園屋根	10kW
15	愛荘町	H23年3月	燦電会	駅コミュニティハウス屋根	7kW
16	湖南市	H25年2月	(一社)コナン市民共同発電所プロジェクト	障がい者支援施設	20kW
17	守山市	H25年3月	もりやま市民共同発電所推進協議会	守山中学校柔剣道場	15kW
18	東近江市	H25年3月 H26年3月増設	八日市商工会議所、東近江市商工会	平和祈念館	当初 11.6kW 現在 34.8kW
19	東近江市	H25年5月	あいとうふくしモール市民共同発電所組合	働き応援施設、高齢者施設、農家レストラン	34.28kW
20	東近江市	H25年5月	川並共同発電所	特別養護老人ホーム	11.4kW
21	守山市	H25年6月	もりやま市民共同発電所推進協議会	こども園屋根	21.56kW
22	守山市	H25年9月	もりやま市民共同発電所推進協議会	幼稚園屋根	27.93kW
23	湖南市	H25年9月	(一社)コナン市民共同発電所プロジェクト	運送会社倉庫屋根	105.6kW
24	長浜市	H26年2月	ながはまアメニティ会議	シルバー人材センター屋根	6.08kW
25	守山市	H26年9月	もりやま市民共同発電所推進協議会	保育園屋根	31.59kW
26	湖南市	H28年3月	(一社)コナン市民共同発電所プロジェクト	十二坊温泉ゆらら	16kW
27	湖南市	H28年3月	(一社)コナン市民共同発電所プロジェクト	柑子袋まちづくりセンター	26kW
28	高島市	H29年3月	NPO法人元気な仲間・(一社)市民エネルギーたかしま	小規模多機能居宅介護事業所	13.5kW

県内の主な「市民共同発電所」マップ



(令和元年7月末現在)

「エネルギー自治」が環境自治や福祉自治の土壌から生まれる



④さんさんくん
(大津あいあい保育園)



⑤ひかりちゃん
(新旭風車村)



⑥ほほえみ 2号
(野洲こどもの家駐輪場)



⑩ほほえみ 3号
(B&G海洋センター艇庫)



⑫ひがしおうみ市民共同発電所
2号機 (FMひがしおうみ)



⑬八日市南ロータリークラブ
(布引グリーンスタジアム)



⑯コナン市民共同発電所 初号機
(障がい者支援施設「バンバン」)



⑰もりやま市民ソーラー 1号機
(守山中学校柔剣道場)



⑳もりやま市民ソーラー 2号機
(小津こども園)

～市民共同発電所 設置事例①～

⑱ ひがしおうみ市民共同発電所 3号機

地域の「富」が、**三方よし商品券**で地域循環へ

- 設置年月：平成25年3月（平成26年3月増設）
- 設置場所：滋賀県平和祈念館
- 設置主体：八日市商工会議所、東近江市商工会
- 発電容量：34.8kW（当初11.6kW）
- 設置費用：1,380万円
- 資金協力件数：合計92口

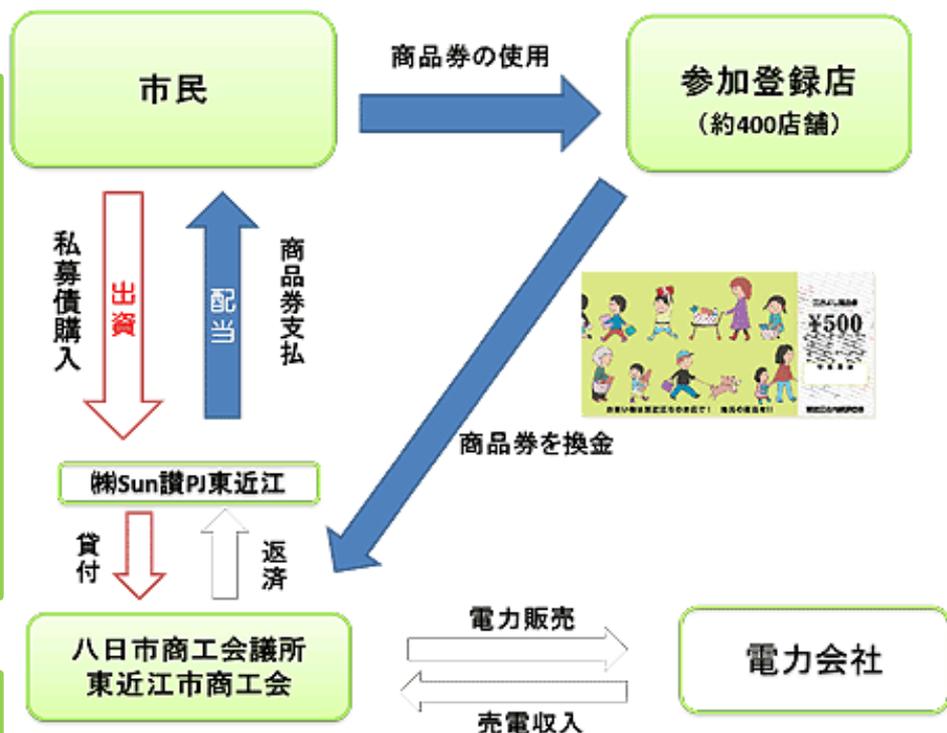
【調達工程】

- 八日市商工会議所と東近江市商工会が『株式会社 Sun讚PJ東近江』を設立
- 同社が私募債を募集（1口15万円、金利2.0%、3回発行、責任財産限定特約付）
- 八日市商工会議所が同社から全額借入し、市民共同発電所3号機を設置
- 八日市商工会議所が**20年間、東近江市から平和祈念館の屋根を賃借**
- 八日市商工会議所が**三方よし商品券**で20年間元利均等返済予定

- **地域の「富」が、「三方よし商品券」で地域循環へ**
- エネルギーの地産地消、地域循環経済の見える化



平成25年度
新エネルギー賞
審査委員長特別賞受賞



東近江モデル(地域循環のフロー)

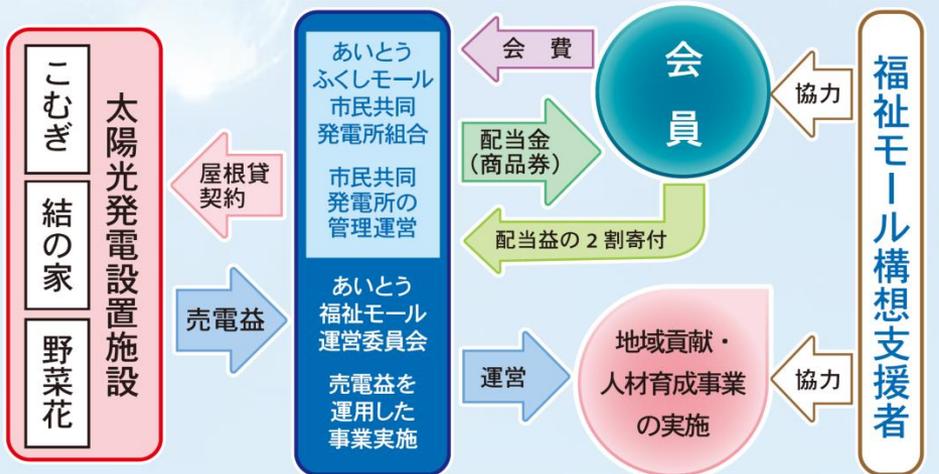
～市民共同発電所 設置事例②～

⑱ あいとうふくしモール市民共同発電所

「食」と「ケア」、そして「エネルギー」が充実した安心の拠りどころを目指す

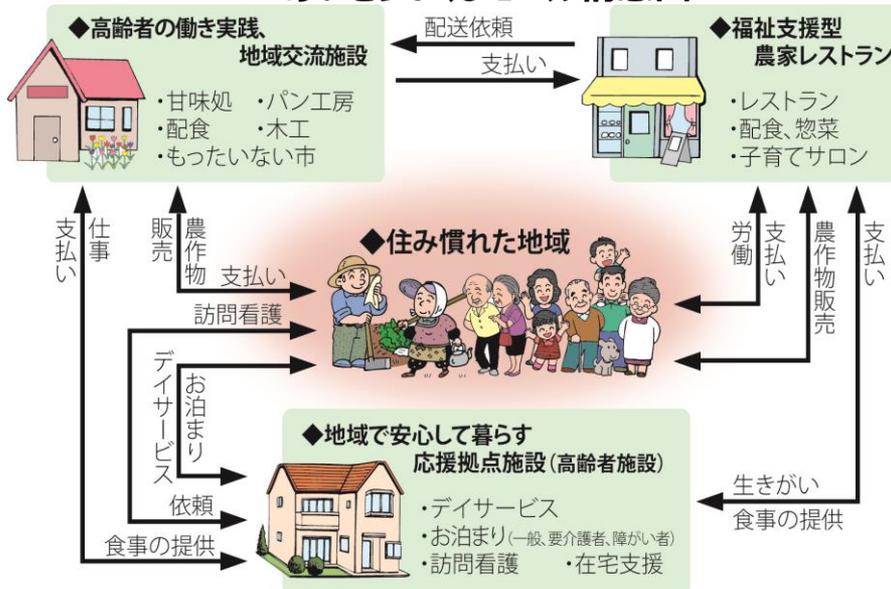
- 設置年月：平成25年5月
- 設置場所：① 田園カフェ「こむぎ」、② 結の家 ③ ファームキッチン「野菜花」の各屋根（東近江市小倉町）
- 設置主体：あいとうふくしモール市民共同発電所組合
- 発電容量：34.28kW（①②各5.71kW、③22.86kW）
- 設置費用：1,100万円
- 資金協力件数：110口
- 資金協力額：1口10万円

あいとうふくしモール市民共同発電所の仕組み



あいとうふくしモールには、いつまでも安心して暮らしていくために「ケア」の充実と地域食材を主にした「食」を提供する3つの施設がある。そこに「エネルギー」の自給を加え、安心の拠点となることを目指し、薪ストーブと、福祉モール構想支援者らによる市民共同発電所を各施設の屋根に設置した。

あいとうふくしモール構想図



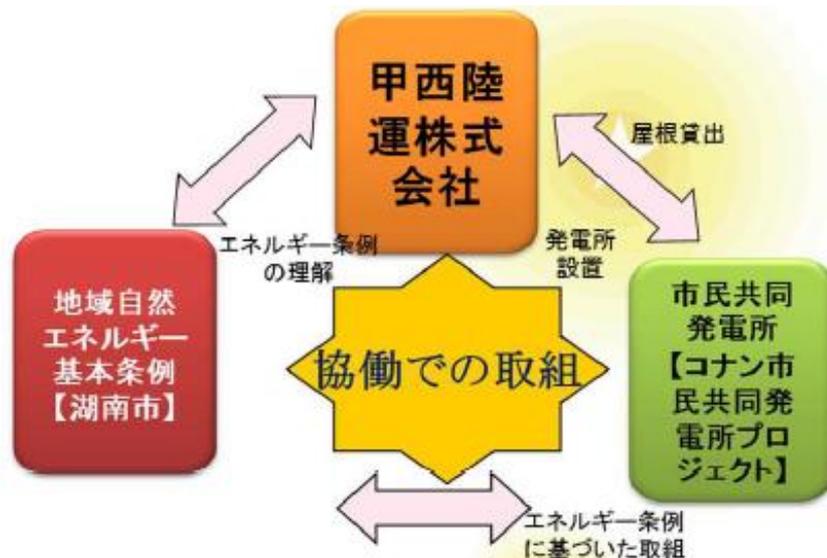
➤ 東近江市産の薪ストーブを設置。施設内で生産された薪を使用。

～市民共同発電所 設置事例③～

②③コナン市民共同発電所 弐号機

地元民間企業との連携による市民共同発電所

- 設置年月：平成25年9月
- 設置場所：甲西陸運(株) 倉庫屋根 (湖南市柑子袋)
- 事業主体：(一社)コナン市民共同発電所プロジェクト
- 発電容量：105.6kW
- 設置費用：3,600万円
- 出資件数：個人87名、法人27社
- 出資額：1口10万円
- 出資配当：地域商品券
- 元金償還：1口目は地域商品券
2口目以降は現金か地域商品券の選択



■ **湖南市地域自然エネルギー基本条例**
 地域における自然エネルギーの活用について、市、事業者及び市民の役割を明らかにするとともに、**地域固有の資源**であるとの認識のもと、**地域経済の活性化**につながる取り組みを推進し、もって**地域が主体となった地域社会の持続的な発展**に寄与することを目的としています。

～市民共同発電所 設置事例④～

④ながはまアメニティ会議発電所

売電益で環境活動を支援する「寄付型」市民共同発電所

- 設置年月：平成26年2月
- 設置場所：長浜市シルバー人材センター（旧エコハウス）
（長浜市小堀町）
- 設置主体：ながはまアメニティ会議
- 発電容量：6.08kW
- 設置費用：209万円
 - ・市補助金 100万円
 - ・自己資金 65万円
 - ・**寄付金 43.6万円**
- 寄付件数：個人50件、法人13件

【ながはまアメニティ会議】

- 環境問題に取り組む長浜市の市民団体(個人会員157名、法人等19団体※H26.3.1)で、「低炭素社会の実現」に向け、太陽光発電事業等に取り組んでいる。
- この事業により**年間見込まれる売電益（約20万円）は、再生可能エネルギーの普及活動の支援等に活用する。**
- また、この事業により、従来からの環境保全活動に加え、**自然エネルギーを学ぶフィールドワークの拠点**を持つことができ、啓発活動の更なる充実を図る。
- 更には、イベントなどでパネル展示を行うなど、太陽光発電の効果等を広くPRする。



太陽光発電システムと学習スポット



ながはまアメニティ会議の環境啓発活動
（環境にやさしい日事業）

～市民共同発電所 設置事例⑤～

②⑦コナン市民共同発電所 参考機・四号機

協力者に対して地域の特産品を贈呈

- 設置年月 : 平成28年3月
- 設置場所 : ①参考機 十二坊温泉ゆらら
②四号機 柑子袋まちづくりセンター
- 事業主体 : (一社)コナン市民共同発電所プロジェクト
- 発電容量 : ①16kW、②26kW
- 設置費用 : 1,750万円
- 出資等募集 : 出資 1口10万円×50口(500万円)
寄付 1口1万円×46口(46万円)
融資 地元金融機関
- 募集方式 : 適格機関投資家等匿名組合方式
- 元本償還・配当 : 地域商品券
- 協力者配布 : 地域特産品

- 1. 近江豚・豚肉ロース味噌漬コース
- 2. 一期一会のこだわりの卵コース
- 3. 近江つけもの5品セットコース
- 4. ナカザワオリジナル ディズニー掛時計
- 5. 湖南市産食材を使用したスイーツ詰め合わせ



寄付参加金は
1口1万円で
250口募集!

3年間にわたり、
参加記念品として湖南市
の特産品をお届けします。

コナン市民共同発電所
参考機・四号機
寄付参加者募集!

参加記念として、湖南市
の特産品をお届けしま
す!!



参考機設置場所
(十二坊温泉ゆらら)



四号機設置場所
(柑子袋まちづくりセンター)

寄付参加者に3年間、湖南市特産品を贈呈

～市民共同発電所 設置事例⑥～

⑳「元気な仲間」おひさま発電所

「福祉」と「環境(エネルギー)」の融合モデル

- 設置年月：平成29年3月
- 設置場所：小規模多機能居宅介護事業所「元気な仲間」
(高島市新旭町安井川)
- 事業主体：NPO法人元気な仲間・市民エネルギーたかしま
- 発電容量：13.5kW
- 設置費用：350万円

- ・寄付金 49.5万円(53者)
- ・設置協力金 240万円(23者)

おひさまプロジェクト

安井川の「元気な仲間」の大きな屋根に
おひさま発電所をつくろう!

地域の中で、人どつながって生きていたい。
笑顔が広がる集いの場に、
おひさまのエネルギーを!
自然の恵みを未来につなげるために、
皆様のご参加をお待ちしています。

私たちの町に、市民共同の太陽光発電設備を設置します。
場所は、新旭町安井川の「元気な仲間」の大きな屋根の上です。
費用は、市民からの寄付金と協力金、設置施設の資金で賄う
計画です。NPO法人元気な仲間と一般社団法人市民エネルギーたかしまが協力して取り組みを進めています。

計画概要

- 設置寄付金 1口3,000円(増設口を歓迎します)
お名前を報告書に掲載させていただきます。
- 設置協力金 1口10万円
- 募集期間 2016年11月15日～2017年3月31日
- 導入する設備 発電能力：13.5kw規模 単結晶太陽電池モジュール
- 点灯式 3月13日(月)(予定)
- お問合せ・連絡先 NPO法人 元気な仲間 0740-25-5703
一般社団法人市民エネルギーたかしま 077-596-1181



小規模多機能居宅介護事業所「元気な仲間」



お披露目会(平成29年3月13日)



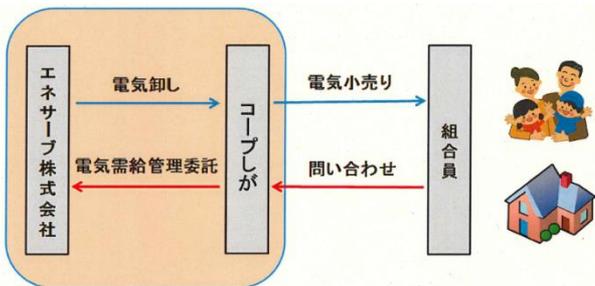
電力小売全面自由化に伴う小売電気事業者の台頭

- 平成28年4月からの電力小売全面自由化に伴い、小売電気事業者(新電力)が台頭
- 令和元年7月現在の小売電気事業者は、登録ベースで593社。うち、**県内に本社を置く小売電気事業者は3社。**

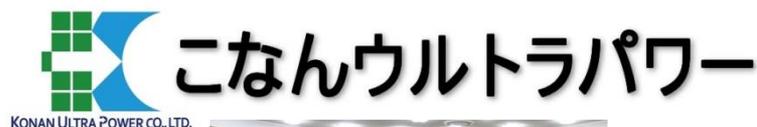
※県内に本社を置く小売電気事業者(3社)



(平成27年10月8日登録)



(平成28年7月14日登録)



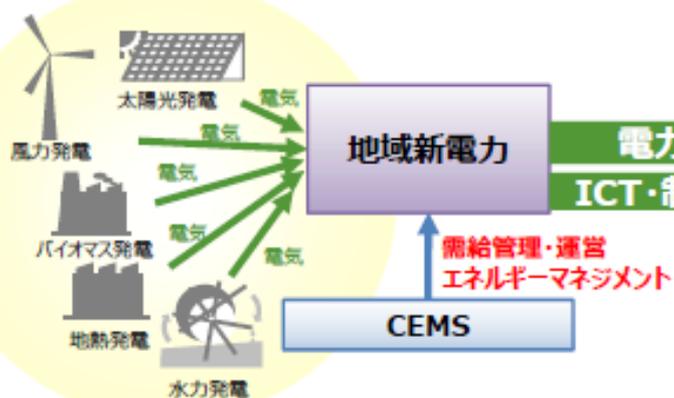
(平成28年9月13日登録)

地域新電力(こなんウルトラパワー)

- **会社名**：こなんウルトラパワー株式会社
- **所在地**：湖南市中央1丁目(湖南市商工会内)
- **設立目的**：
 - ✓ 市外に流出していた資金(電気料金)を市内の還流させることにより、エネルギーと経済の循環を推進し、地域経済の活性化を図る。
 - ✓ 市内の自然エネルギーの普及、公共施設等の電気料金の削減
- **設立**：平成28年5月
- **供給開始**：平成28年10月～
- **供給計画(H28)**：3,800kW
→調達(市内太陽光1,968、卸市場832等) →販売(公共施設3,300等)
- **供給計画(H32)**：8,500kW
→調達(市内太陽光4,168、卸市場3,332等)
→販売(公共施設3,600、企業4,000、一般家庭900)



地域の再生可能エネルギー



地域内の需要家 (公共施設等)



平成28年5月設立

協同組合における取組例(コープしが)

生活協同組合コープしが

- 平成23年からコープしがの事業所への太陽光発電システムの導入を開始し、**現在10基が稼働中。**
- また、**平成28年11月から、県下17万組合員を対象に電気小売り事業を開始。**



草津センター 118.6kW
(草津市上寺町)



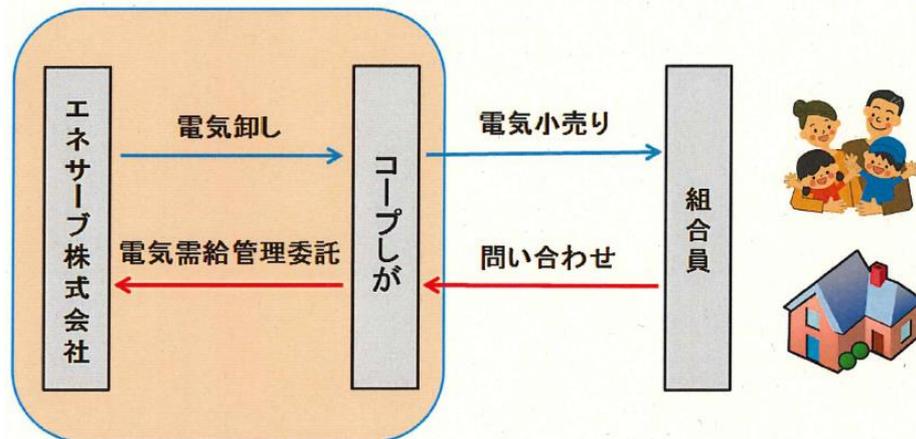
北大津センター 99.8kW
(大津市真野)



南草津センター 108.4kW
(草津市笠山)



東近江センター 119.3kW
(東近江市五個荘清水鼻町)



電気小売り事業のスキーム



電気小売り事業参入に係る記者会見
(平成28年8月17日)



再エネ100%プラン公表
(平成31年3月1日)

ソーラーシェアリング(発電+農業)による農業振興

農地ソーラーシェアリング推進実証実験(長浜市)

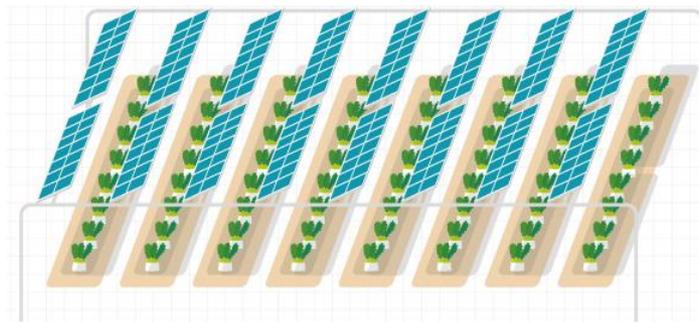
- 農地に**営農型太陽光発電設備(ソーラーシェアリング)**を設置
- 露地野菜の栽培と売電収入による新たな農業所得による「**農業+発電**」の**新しい時代の農村文化を創造**するために、先進的な実証実験を実施



【長浜市農地ソーラーシェアリング推進実証実験】

- 実施者 湖北町農産物直売組合
- 場 所 湖北みずどりステーション西側
(長浜市湖北町今西)
- 発電出力 4.32kW
- 設置面積 約70㎡
- 栽培品目 ジャガイモ、キャベツ、ブロッコリー
- 備 考

営農型太陽光発電設備の下で栽培する露地野菜の生育状況等の比較データを収集し、農地ソーラーシェアリングの推進に向けた実証実験を実施。

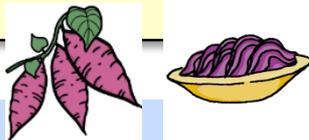


イモが地球を救う ～湖南市民によるイモ発電の挑戦～

こなんイモ・夢づくり協議会(湖南市)

平成26年度地域主導型再生可能エネルギー
事業化支援事業補助金 活用事例

■ サツマイモを発酵させて取り出したメタンガスを燃料に電気を起こす「**イモ発電**」の実用化に向けて、湖南市の市民グループ「こなんイモ・夢づくり協議会」が、イモ発電の普及に取り組む鈴木高広・近畿大学教授の指導を受けて取組を展開中。



■ 取組内容

- ① 芋の空中栽培による大量生産
→小学校、福祉施設など約40カ所で栽培
- ② 特産品開発、簡易発酵、ミニ発電実験
※将来的には足湯施設への電力供給と給湯



こなん・イモ・夢づくり農園



サツマイモ収穫祭(H29.11)の風景



子供・高齢者・障がい者の方々が参画



サツマイモの空中栽培(市内40カ所)



近畿大学・鈴木教授による発電実験

～地域における先進的・複合的な取組例①～

市民エネルギーたかしま (CET : Citizen's Energy Takashima)

- 「食料(F)」、「エネルギー(E)」、「ケア(C)」の自給を地域を進めることを目的として平成24年7月に設立したNPO『FEC自給圏ネットワーク』を母体として、**「エネルギー(Energy)」分野に特化し、実行する組織として『一般社団法人 市民エネルギーたかしま』を平成25年4月に設立(のち任意団体へ)。**
- 地域にある資源を活かし、**太陽光・熱、小水力、バイオマス**等、再生可能エネルギー導入や省エネルギー普及に関する事業を行い、**地球温暖化防止及びエネルギー自給に寄与することを目的**とする。

小水力利用プロジェクト



取水部



流量調査・水位計設置



発電所予定地

●百瀬川小水力発電所計画

- 有効落差 85m
- 最大使用流量 0.3m³/s
- 最大発電量 199kW

バイオマス利用プロジェクト



●木の駅プロジェクト

- 山に放置された間伐材を薪に
- 間伐材集積場を設けて薪をストック



●ロケットストーブコンロ

- 手近な枯れ枝をエネルギーに
- 燃烧実験や製作指導などを通じて地域で普及活動

太陽光・太陽熱利用プロジェクト



～地域における先進的・複合的な取組例②～

水源の里再エネ実行委員会【事務局：伊吹山スロービレッジ(米原市)】

- 同実行委員会は、米原市で棚田再生に取り組む「伊吹山スロービレッジ」を中核に、地域の農林業者等によって平成26年3月に設立された組織
- 平成26～27年度に農林水産省「農山漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業」の採択を受け、姉川上流域での小水力と木質バイオマスによる再エネ事業と地域活性化の実現に向けて検討。



●姉川発電所遺構

- 1914年(大正3年)建設。滋賀県で2番目に電気が灯った。
⇒実は小水力の先進地だった！
- 1944年(昭和19年)廃止。現在は森の藪に囲まれた廃墟に。

●「水源の里再エネ実行委員会」設立趣旨

- 再エネ事業と農林業活性化を総合的に図る協議会の設立
- 小水力発電による再エネ事業と環境整備基金づくり
- 木質バイオマスによる発電・余熱利用事業の計画づくり

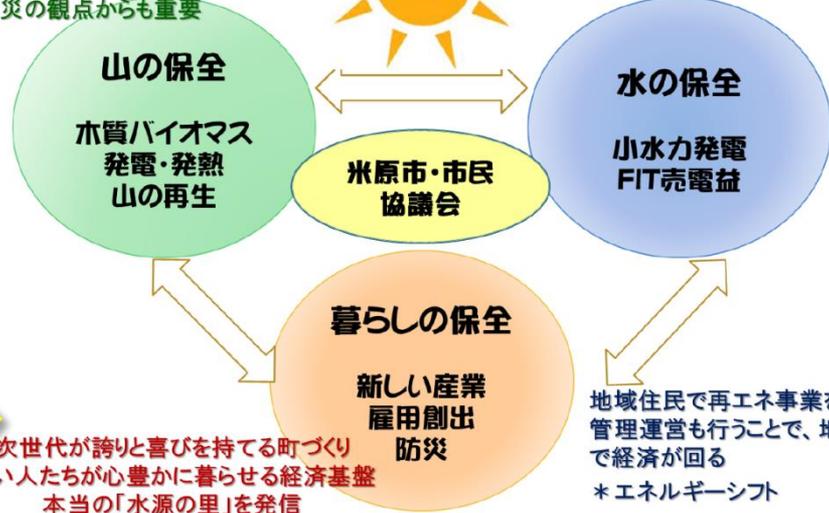
米原市の再エネイメージ

地域住民で山を守る・再生する仕組みを作る
防災の観点からも重要



太陽光発電

都心部でも小規模でも再生可能エネルギー発電が可能
公共建物の屋根や空き地の利用
FIT売電益



●桶水(伊吹山からの湧水)

- 昔から棚田での耕作に使用
- 小水力発電への活用可能性

伊吹山
スロー
ビレッジ



●伊吹山スロービレッジ

- 平成23年から小泉棚田にてマイクロ水力発電の取組(勉強会等を開催)
- (平成25年度資源エネ庁調査事業に(有)イーセレクトが採択)



小水力発電完成(H25.3)

～企業による先進的・複合的な取組例～

甲西陸運グループ

甲陸クリーンエネルギーセンター

■太陽光発電事業（メガソーラー）

湖南物流センター(湖南省小砂町)を「甲陸クリーンエネルギーセンター」と位置付け、滋賀県内第1号として物流倉庫屋根に約4,200枚のモジュールを設置したメガソーラー事業を展開。

- 屋根面積：11,558㎡
- 出力：約1,000kW
- 年間総発電量：約96万kWh
- 売電開始：平成25年2月
- 事業者：甲陸湖南有限会社



■BDF(バイオディーゼル燃料)精製事業

取引先から引き取った食用廃油を自社のバイオプラントで精製し、自社トラックやフォークリフトの燃料、廃油ボイラー燃料として地元温泉のボイラー燃料や温室ハウス栽培燃料に使用。

- 精製燃料：B100
- 最大処理能力：
 - 月間約8,000リットル
- 事業開始：平成25年2月
- 事業者：
 - 甲陸ロジスティクス株式会社



■災害救援電源「お助け救殿」

風力とソーラーの発電に蓄電池を加え、無電源で電力を賄うための装置。災害時などの非常時にパソコン、携帯電話などの充電、LEDスタンドなどが使用可能(通常時は防犯灯、街路灯などとして使用可能)。

平成25年5月に湖南省の緊急一時避難所である中学校4校に設置。

- 事業者：株式会社KOHDEN



■市民共同発電との連携

中央物流センター(湖南省柑子袋)の屋根をコナン市民共同発電所2号機に貸し出し。

- 設置規模：105.6kW
- 売電開始：
 - 平成25年9月
- 貸出者：
 - 甲西陸運株式会社



～大学による先進的・複合的な取組例～

立命館大学BKC Sustainable Week 実行委員会

- 立命館大学BKC(びわこ・くさつキャンパス)を“小さな地球”と見立て、**SDGsにおける17のゴールに学生団体が主体的に取り組むイベント『Sustainable Week』**を開催。
- 様々な分野で活動する学生団体が、活動内容や専門性を活かして「持続可能な社会」を表現し、社会を巻き込んだ企画を実施。【平成29年10月、平成30年10月に開催】

「Sustainable Week 2017」の様相



貧困・格差・環境一。
世界中に混在する、解決困難な課題。
いまこそ人類は一丸となって
この課題解決の為に取り組むべきだ。
はじめよう、僕らの未来デザイン



太陽光発電を活用した再生可能エネルギーライブ



ZEH実証実験



ごみ箱アート

県内に広がるエネルギー自治の推進

「滋賀県地域エネルギー活動支援事業補助金」による支援団体・支援事業一覧

		事業主体	事業概要	実施地域
H28	1	一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク	消費行動を通して考える地域エネルギー交流・体験推進事業（施設見学イベントの企画、「三方よしエコフェア」内でのイベント実施等）	県全域
	2	特定非営利活動法人 碧いびわ湖	子育て世代に向けた「身近な自然とつながる住まいづくり」の学習機会提供事業	県全域
	3	こにゃんの森エネルギー研究会	「火のある暮らし祭り」の開催（木質バイオマスエネルギーの啓発および新規拠点づくり活動）	湖南
	4	公益財団法人 淡海環境保全財団	見て学ぼう！再生可能エネルギーの実施例見学と学習（小水力・バイオマス発電所、ソーラーシェアリングの見学および学習）	県全域
	5	一般社団法人 市民エネルギーたかしま	おひさまプロジェクト（市民共同発電所設置事業）	湖西
H29	6	こにゃんの森エネルギー研究会	「火のある暮らし祭り」の開催（木質バイオマスエネルギーの啓発および新規拠点づくり活動）	湖南
	7	一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク	小型太陽光発電システム普及促進および家庭内創エネ活動推進事業（「三方よしエコフェア」内でのイベント実施）	県全域
	8	環人8プラス	「ひこね市民共同発電所」開設を視野に入れた、地域エネルギー交流推進事業	湖東、 東近江
	9	特定非営利活動法人 碧いびわ湖	農的な暮らしに関心のある人々を対象としたイベント開催等、地域エネルギー利用の普及活動	湖南、湖東
	10	びわこ健康・省エネ住宅推進協議会	みんなを笑顔に、地域を豊かにする健康・省エネ住宅推進事業（「暮らしから始まる健康・省エネセミナー」の開催）	湖東、湖北、 東近江
H30	11	一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク	琵琶湖と共に考える再生可能エネルギー交流・体験推進事業（「エネルギーとエコについて考えよう！夏休み親子エコ体験クルーズ」の開催）	県全域
	12	こなんイモ・夢づくり協議会	サツマイモのメタン発酵によるイモ発電事業	甲賀
	13	特定非営利活動法人 碧いびわ湖	子育て世代向け「身近な自然とつながる住まい」の体験イベント開催とPR冊子制作	県全域
	14	地域エネルギー研究会	再エネ100%社会を目指した地域エネルギー研究推進事業（関連映画上映会やフォーラム等の開催）	県全域
	15	沖島町離島振興推進協議会	地域エネルギー活用・担い手育成ワークショップin沖島	県全域

エネルギー自治の推進に向けた地域エネルギー活動への支援

「平成30年度地域エネルギー活動支援事業補助金」による支援団体・支援事業

【沖島町離島振興推進協議会】

■ 事業／「地域エネルギー活用・担い手育成ワークショップin沖島」(平成31年2月～3月)
→島内外の住民が地域の現状を共有し、太陽光パネル・蓄電池システム等の実演や勉強会を通して地域エネルギー活用への具体的取組について考えるワークショップを全4回開催

【一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク】

■ 事業／「エネルギーとエコについて考えよう！夏休み親子エコ体験クルーズ(大津市)」(平成30年8月3日)
→環境学習船「megumi」において発電装置見学やエネルギー、環境などに関するワークショップを行い、省エネやグリーン購入への理解を深めるイベントを開催

【地域エネルギー研究会】

■ 事業／「再エネ100%社会を目指した地域エネルギー研究推進事業(草津市、彦根市)」(平成30年12月～)
→再生可能エネルギーへの理解促進を図るため、関連映画の上映会や海外のエネルギー事情報告会、事業者向けフォーラムを開催

【特定非営利活動法人 碧いびわ湖】

■ 事業／「子育て世代向け『身近な自然とつながる住まいづくり』体験イベント(東近江市、日野町、栗東市など)」(平成30年11月～)
→薪割体験や太陽熱温水器・雨水タンク等を実際に見たり触れたりすることを通して、地域エネルギー活用への関心を高めるイベントを全5回開催

【こなんイモ・夢づくり協議会】

■ 事業／「サツマイモのメタン発酵によるイモ発電事業(湖南市)」(平成30年6月～)
→サツマイモの植付～栽培～発酵実験を行うとともに、小学校でのイモ発電授業や市民を対象にした発電見学、収穫祭を開催



地域エネルギー活動支援事業

総合企画部(エネルギー政策課) 予算額【3,171千円】

事業の趣旨・目的

- 地域資源を活かしたエネルギーの利用促進
- 地域主体による自主的な取組の活性化
- エネルギー分野の機運を醸成

制度概要

● 補助対象者

特定非営利活動法人等民間非営利団体

● 補助対象事業

エネルギーの地産地消や**地域経済の循環**に繋がる**市民共同発電事業**や**再生可能エネルギーの創出事業**、**普及啓発事業**等の活動支援



● 補助率等

定額 上限500千円×6件

地域での活動のイメージ

- イベントで使用する電源に**県内産の再生エネ**を活用し、**エネルギーの地域循環**に貢献する取組として**発信**
- **市民共同発電事業**の計画や活動支援
- 親子向けの再生可能エネルギーの**施設見学**や**ワークショップ**を開催
- 先進事例地のインタビュー**動画を制作・配信**
- 地域での**小水力発電**の実現に向けた**流量調査**等の実施
- 太陽熱温水器、雨水タンク・雨水利用システム、薪ストーブ等の**普及活動・設置推進**
- 省エネ・節電を普及啓発するための**セミナー・イベントの開催**



地域主導によるエネルギー自治の促進

防災拠点の公共施設等に再生可能エネルギー導入を推進

再生可能エネルギー等導入推進基金(グリーンニューディール基金)の活用

- 避難所や防災拠点において、災害時等に必要なエネルギーを確保するために、**太陽光発電等の再生可能エネルギー発電設備と蓄電池を併せたシステム等**を設置する取組を推進。
- 平成24年度～平成28年度までの5年間で、**県内38箇所に設置**(※基金規模9億円)

① 県施設への導入

6箇所



防災拠点となる
施設等

② 市町等施設への支援

32箇所



■ 県立高等技術専門学校(草津・米原校舎)

【設置時期】平成25年10月

【導入設備】太陽光発電(各10kW)
+リチウムイオン蓄電池



草津校舎



米原校舎

■ 長浜市役所北部振興局庁舎

【設置時期】平成27年3月

【導入設備】
太陽光発電(壁面13.8kW)
+リチウムイオン蓄電池



■ 甲津原交流センター

【設置時期】平成29年2月

【導入設備】小水力発電(4.5kW)



県有施設の「屋根貸し」による太陽光発電事業

■ 太陽光発電の新たな普及拡大策として、**公募型プロポーザル方式により県有施設の屋根を使用した太陽光発電事業を実施。平成26年4月から発電を開始。**

■ 対象施設

瀬田工業高校 (情報電子科実習棟)

- 大津市神領三丁目
- 平成3年竣工
- 地上4階、鉄筋コンクリート造
- 陸屋根、砂利押さえ

■ 事業概要

- 事業者 株式会社オギキチ(近江八幡市)
- 設置容量 22.56kW
- 設置面積 208㎡
- 納付金額 11,400円/年(55円/年・㎡)
- 事業期間 平成26年3月～平成46年4月 (20年間)
- 地域貢献
 - ・災害時等の非常用電源の利用
 - ・校内のパソコンでの発電状況の見える化



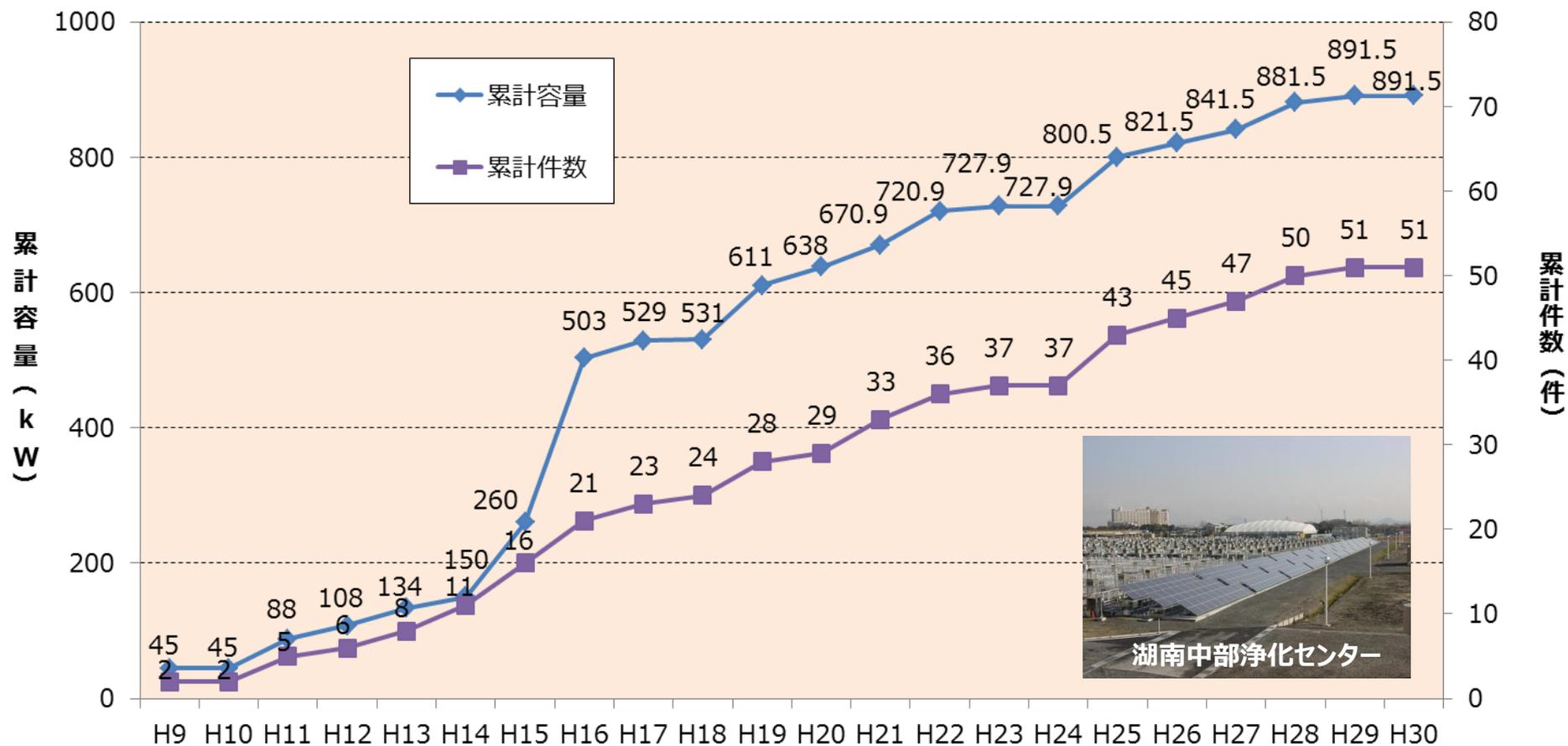
校舎屋上に設置された太陽光パネル



災害時非常用コンセント

県施設での太陽光発電の導入状況

- 県施設での太陽光発電の導入容量(平成30年度末累計)は**約890kW**。
- 湖南中部浄化センター(130kW)、近江大橋(60kW)など、**51件導入**。



新学習船「うみのこ」～平成30年6月出航～

- 昭和58年から始まった「びわ湖フローティングスクール」の学習船として、**これまでに県内の約54万人の子供たちが乗船**した「うみのこ」が、35年を経て、**平成30年6月4日に新しい船(エコシップ)となって出航**。

エコシップの特徴

- 環境に配慮した「**電気推進システム**」を採用
→ディーゼルエンジンで発電した電力でモーターを駆動(現船に比べてCO2排出量を削減)
- **太陽光発電** →発電した電力は学習室兼食堂の天井灯に使用
- **太陽熱温水器** →実験室などで温水を使用
- **BDF(バイオディーゼル燃料)**の使用



新しいうみのこに乗って
新しい学びの旅へ出航!

屋上の太陽熱温水器

総合企画部(エネルギー政策課) 予算額【12,100千円】

事業の趣旨・目的

- **地域の活性化や課題解決等に向けた地域内経済循環を促進するため**、民間事業者が行う**再生可能エネルギーを活用したプロジェクトの推進**に資する再エネ設備の導入に対して支援する。

制度の概要

■ 補助対象者

県内の公益法人、特定非営利活動法人、株式会社等

■ 補助対象事業

①から④のいずれも満たすプロジェクトを推進する上で必要となる再生可能エネルギー設備を導入する事業

- ①地域の活性化や課題解決、雇用の創出に資するものであること
- ②新規性・先導性があり、他地域への普及が期待されるものであること
- ③地域の特性に応じた創意工夫がなされ、特色あるものであること
- ④確実かつ継続的な実施が見込まれるものであること

■ 補助率等

2/3以内、上限4,000千円

■ 補助件数

3件程度

事業イメージ

エネルギー分野 (補助対象)

エネルギー × 農業

バイオマス熱利用による特産品開発



BDFボイラー

農業振興



再エネ導入促進



特産品開発

エネルギー × 林業

未利用間伐材のエネルギー利用による林業振興



木質バイオマスボイラー

林業振興



再エネ導入促進



自伐型林業

エネルギー × 福祉

地域に根差したエネルギー利用による障害者等の社会参画機会の創出



メタン発酵・発電機

地域福祉向上



再エネ導入促進



社会参画機会創出

エネルギー分野から地域活性化・地域内経済循環の促進

Allmendeキテハ 小型チップボイラ導入による地域創造プロジェクト

株式会社バイオマスアグリゲーション

事業背景

脱炭素社会の構築に向け、電力だけでなく熱エネルギーの再エネシフトも喫緊の課題であり、優位性あるバイオマス熱利用の本格的な普及が求められる。本プロジェクトは小型のチップボイラの導入とそれを活用したエネルギーサービスに取り組み、その普及拡大につなげることで地域の脱炭素化、低迷する地場製材・工務店の経営力強化、集落林等森林整備の促進等を目指すとともに、未来の地域社会で活躍できるヒトづくりを実践していくものである。

事業内容

バイオマスアグリゲーションが熱利用先となる寄宿型技術者養成学校「Allmendeキテハ」に20kWの小型のチップボイラを導入（*）し、暖房・給湯用の温水を供給する。集落単位で地域の未利用資源となる間伐材や製材端材を集荷・購入し、自社でチップ化して供給する小規模なチップのサプライチェーンを構築する。

（*）初期投資をエネルギー事業者が負担し、ユーザーはサービス料金を支払うだけで設備更新を行う方式

導入する設備	固定床チップボイラ
熱出力	19.9kW
ボイラ効率	94%
燃料	木質チップ（35%W.B.）
年間想定熱供給量	53.2GJ/年（当初）

プロジェクト全体図



期待される効果

- ・バイオマスボイラ導入のモデル（システム・スキーム）構築による県内へのバイオエネルギーの導入促進
- ・地場製材・地場工務店の経営力強化
- ・集落林の森林整備促進・所有者の経営意欲強化
- ・エネルギーに精通する技術者の育成・地域での活躍の場創出

伊吹山ソーラーファームプロジェクト

株式会社伊吹山スロービレッジ

事業背景

非効率で「業」として成り立ちにくい棚田農業は、近年獣害の増加もあり、継続させることが困難な状況にある。自立可能な農業経営を目指して再生可能エネルギーにも取り組んできたが、投下資本、維持に必要な労力等に対する経営効率や獣害問題を考慮すると、現状ではソーラーシェアリングが最も有効な手段と考えられる。農業に関心を持つ若者は多く、経済的基盤さえできれば棚田で農業を営む人材は増加すると見込まれる。豊かな自然を守りながら経済基盤を確立し、中山間地域の農業を持続可能にするためのプロジェクトである。

事業内容

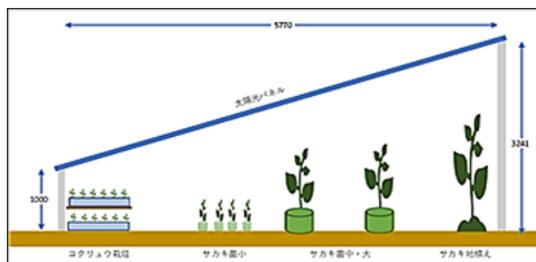
- ・天候、獣害に左右されないソーラーシェアリングで安定した売電収益を得て、農業を継続できる経営基盤をつくる
- ・架台下で伊吹山の薬草ブランドを活かした商品作物（種、コクリュウ等）を栽培し、新しい市場と棚田をリンクさせる



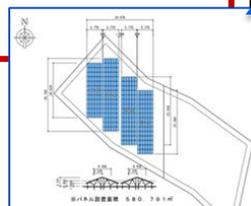
ギャザリングに使われるコクリュウ



コクリュウ



- ・農福連携を含む雇用をつくり、棚田を持続させる
- ・新しいビジネスモデルをつくり、ノウハウを提供する
- ・将来的には化石燃料を使わない農業を目指す



プロジェクト全体図



期待される効果

中山間地棚田の新しい活用法 ～ソーラーシェアリング+伊吹薬草ブランドで持続可能な農業へ

高純度バイオディーゼル燃料による滋賀発SDGs実践プロジェクト

油藤商事株式会社

事業背景

滋賀県が積極的に展開しているSDGsの取組み、中でもNo.7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」を実践するプロジェクトとして、県内の廃食油を回収し、地産地消エネルギーである「バイオディーゼル燃料」に精製し、地域の車両のみならず、新たな需要先を創造し、さらなる地域循環型社会を目指す。

事業内容

本事業では、SDGsの取組みの拡大を視野に入れて、高純度バイオディーゼル燃料製造装置の導入を新たに実施する。

- ① 県内の廃食油を集め、草津駅前再開発をはじめ、大手ゼネコンの建設現場においてバイオディーゼル燃料を積極的に活用する。
- ② 県独自の環境学習船「うみのこ」に小学5年生から集めた廃食油を燃料の一部として活用する(※構想中)。
- ③ 災害時における再生可能エネルギーの活用を念頭に、所有するタンクローリーでの燃料油配送などBCP対策に取り組む。
- ④ 本事業を通じてハンデを持った方の雇用創出をさらに推進する。

プロジェクト全体図



期待される効果 県内でエネルギーと経済、人の循環を創造